

ぼっきそうち

～ 曝気装置稼働のお知らせ ～



6月1日(火)に、曝気装置の稼働を開始しました。田瀬ダムではアオコの発生抑制のため、平成19年から毎年気温が上がり始めるこの時期に稼働を開始しています。今年度は10月まで稼働予定です。



タセくんとダムくんが教える水質保全設備のしくみ

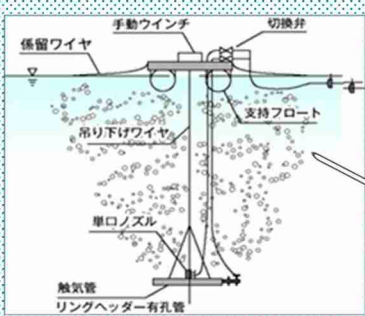
湖の表面水温が高くなると、植物プランクトンの異常繁殖により湖面が緑色になってしまうことがあるんだ。

この現象を『アオコ』と呼び、その発生を抑えてくれるのが水質保全設備『曝気装置』なんだ！



タセくんが緑色のマーブル模様になっちゃったら嫌だもんね。

曝気装置を使って湖の表面水温を下げることで、アオコの発生を防いでいるんだよ！

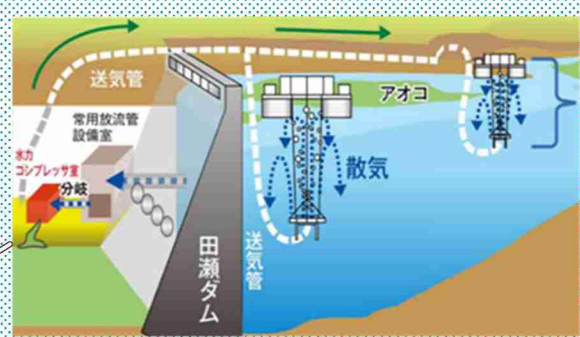
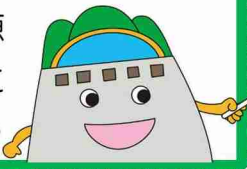


ダム湖深層部に設置した曝気装置から圧縮した空気を噴出させ、水温の高い上層部と水温の低い下層部を混ぜることで表面水温を下げるができるよ！

家庭用の水槽で見かけるエアポンプに動きが少し似ているね♪



ダムに貯まった水を放流することで動く『水力コンプレッサ』(空気圧縮機)が全ての曝気装置に空気を送っているよ。曝気装置は放流水がエネルギー源なんだ！水の力で水を綺麗にしているなんてすごいよね♪





～ 梅雨を迎える前に～



大規模な洪水を想定した警報訓練

6月8日（火）に田瀬ダム警報訓練を実施しました。

田瀬ダムでは、洪水時にダム放流を行う際に、河川の水位が上昇することを事前にスピーカーやサイレンで周知する、警報所を設置しています。

警報訓練では、流域にある13箇所の警報所から※緊急放流時に実際に使用される緊急放送やサイレンを鳴らし、関係自治体と音の聞こえ方を確かめました。



※ 緊急放流(異常洪水時防災操作) とは

計画以上の洪水によりダム湖に水を貯められなくなり、ダム湖に流れ込んでくる水をそのままダムを通過させ下流に流すことです。

ダム湖に流れ込んでくる水量以上を下流に流す事はありません。



重要水防箇所合同巡視に参加



6月11日（金）に北上川上流重要水防箇所の水沢地区合同巡視が行われ、田瀬ダムの職員も北上川と猿ヶ石川の巡視に参加しました。7月からの出水期に備えて、県や関係自治体、実際に水防活動を行う水防団の方々と合同で、洪水時に注意が必要な箇所の現地確認を行いました。

猿ヶ石川に架かる落合橋付近では水害時の対応や注意点、避難情報のポイントなどいざという時の洪水被害の軽減を図るための情報共有も行いました。



編集後記

先日帰宅途中に、車の前を小さな テン が走っていきました。夕方の雨で視界が悪い中、反射材のような身体がとても目立っていました(*^-*)

梅雨はいつも以上に視界が悪くなりやすいので、皆さんも外を歩く時は反射材を身に着けるなどして、安全に努めましょう♪ (佐)

北上川ダム統合管理事務所
田瀬ダム管理支所
〒 028-0123

岩手県花巻市東和町田瀬39-1-3

TEL 0198-44-5211
FAX 0198-44-5752

